

# 消防本部 目標

## 【概要】

消防本部は、総務予防課・消防署の2課で構成し、市民の生命、身体及び財産を火災その他の災害から守るため業務に取り組んでいます。

消防本部の目標（平成29年度）	消防長 五月女 正巳
<b>【基本方向】</b> 災害時に迅速的確な対応ができるよう、消防施設の整備と適正な人員確保に努めます。 安全教育を推進するとともに働きやすい職場を作ります。火災予防施策の推進と消防団員の確保により地域消防力を向上し火災のないまちを目指します。	
<b>【達成すべき目標】</b> 1 消防広域行政の検討 複雑、多様化する災害に対応するため国が推進している消防広域行政について枠組みの検討を行う。  2 職員定員と出動体制の検討 富津市職員定員適正化計画（平成27年～31年・平成26年8月）に基づき職員の勤務体制と定員を検証し職員数に見合った出動体制を検討する。  3 働きやすい職場づくりの推進 年次有給休暇等の取得を促進するとともに男性職員も女性職員も働きやすい職場づくりを推進する。  4 安全教育の推進 消防職員や団員の安全教育を推進し、公務災害や事故のない職場環境を作る。	<b>【目標の達成度】</b> 1 消防広域行政の検討 2月に開催した君津地区消防長会総務部会会議後に「消防の広域化に係る検討会」を開催し、現行の君津地区消防広域問題検討委員会要綱を平成30年度に見直し、検討を進めることを確認した。  2 職員定員と出動体制の検討 消防署の隊編成を維持するため、当直勤務の最低人員を見直すとともに、人員に不足が生じた場合は、総務予防課職員による補正や隊の縮小により対応することとした。  3 働きやすい職場づくりの推進 年次有給休暇等の取得を促進させるため、当直勤務体制を見直した結果、平均取得日数が増加した。 また、女性職員の妊娠に伴い、身体の負担軽減のため救急隊員から事務職への異動を速やかに実施することができた。  4 安全教育の推進 職員は、基本訓練の反復や災害現場を想定した訓練を増やし、団員は、消防操法訓練や消防車両の安全な運用を目指した機関員講習を実施するなど、各種訓練を通じて安全教育の推進を図ったが、車両事故や職員の負傷事案が発生し、目標の達成には

<p>5 火災予防の推進 防火対象物の立入検査や指導を推進するとともに住宅用火災警報器の設置を促進することで火災の発生を減少させる。</p> <p>6 消防団のあり方検討 年々減少する消防団員を増加させるための検討を行い地域消防力を向上させる。</p>	<p>至らなかった。</p> <p>5 火災予防の推進 防火対象物の立入検査実施件数の増加及び住宅用火災警報器の設置率は向上し住宅火災は減少したが、全体の火災件数は減少しなかった。</p> <p>6 消防団のあり方検討 消防団幹部で構成する消防団活性化に係る委員会を検討課題ごとに立ち上げ、団員確保をはじめとする諸問題への対応について検討を始めることができた。</p>
--	--

# 総務予防課 目標

## 【概要】

総務予防課は、総務係・予防係の2係12名で構成し、消防施策の企画、予算の調整、消防職員の福利厚生、消防施設等の管理保全、消防団事務、防火指導、危険物の規制等に取り組んでいます。

総務予防課の目標（平成29年度）	総務予防課長 宇山 則幸
<p><b>【基本方向】</b></p> <p>消防職員及び消防団員が災害現場で安全に活動出来るよう努めます。</p> <p>地域消防力を安定させるため、消防団員を確保します。</p> <p>職員の福利厚生を向上します。</p> <p>防火対象物及び危険物施設に対する防火指導に努めます。</p>	
<p><b>【達成すべき目標】</b></p> <p>1 消防職員及び消防団員の装備の充実について</p> <p>防火衣の老朽化を解消し、職員・団員の安全を確保するため、購入計画を作成し貸与を促進する。</p> <p>また、ヘルメットや救命胴衣等の安全装備品も継続して貸与する。</p> <p>2 消防団員の確保</p> <p>各分団と協議し、団員の適正定数、災害対応に特化した消防団員経験者の再入団及び女性団員の増員について年度内に方針を決定する。</p> <p>3 職員の勤務体制及び年次有給休暇の取得促進について</p> <p>様々な勤務体制について比較検証し職員の適正数を検討する。</p> <p>休日勤務手当ての全額支給及び管理職員特別勤務手当ての支給により勤務人員を確保し、特定事業主行動計画に基づき年次有給休暇の取得を促進する。</p>	<p><b>【目標の達成度】</b></p> <p>1 消防職員及び消防団員の装備の充実について</p> <p>職員の安全確保のため、全職員へのセパレート型防火衣貸与を30年度から予算化することができた。</p> <p>また、消防団本部役員と分団長で構成する消防団の活性化を目的とした車両等検討委員会を立ち上げ、団員の新たな安全装備品貸与について検討を始めることができた。</p> <p>2 消防団員の確保</p> <p>消防団本部役員と分団長で構成する消防団活性化に係る委員会を検討課題ごとに立ち上げ、団員確保をはじめとする諸問題への対応について検討を始めることができた。</p> <p>3 職員の勤務体制及び年次有給休暇の取得促進について</p> <p>年次有給休暇等の取得促進と消防署の隊編成を両立させるため、当直勤務の最低人員を見直すとともに、人員に不足が生じた場合は、総務予防課職員による補正や隊の縮小により対応することとした。その結果、平均取得日数が増加した。</p>

<p>4 施設に対する消防法令の是正指導 立入検査及び行政指導により、防火対象物及び危険物施設の所有者等に消防法令を遵守させ、違反是正を図る。</p>	<p>4 施設に対する消防法令の是正指導 重大な違反のある対象物に対し、重点的に立入検査や指導を実施したことにより、重大違反件数を減少させることができた。</p>
---	---

# 消防署 目標

## 【概要】

消防署は、消防係・予防係・救急係・救助係・通信係の5係と天羽分署の消防係・救急係の2係74名で構成し、火災の警戒、鎮圧、人命救助、傷病者の搬送等、災害から市民を守るための業務に取り組んでいます。

消防署の目標（平成29年度）	消防署長 岩崎 脩
<p><b>【基本方向】</b></p> <p>職員数の減員による消防力の低下を最小限に抑えるため、隊員個々の知識及び技術向上を図り各種災害に対する的確に対応するよう努める。</p> <p>消防団との連携を図り、有事の際には迅速に対応できるよう訓練を重ね被害を最小限に抑えるよう努める。</p>	
<p><b>【達成すべき目標】</b></p> <p>1 災害対応力の向上 各種災害に対する的確に対応するため、各隊が訓練を重ねることにより災害対応力の向上に努める。</p> <p>2 リーダーの育成 今後、多くの職員が定年となることから次世代のリーダーとなる職員を育成するため、係長を中心にこれまで培った知識や技術の継承を行う。</p> <p>3 隊編成の検討 職員数の減員に伴う隊編成を検討し、適正な出動体制に見直す。</p> <p>4 地域消防力の向上 消防団と合同で地域の実状に見合った各種訓練を実施することにより、消防団との連携を更に強化し、地域消防力の向上に努める。</p>	<p><b>【目標の達成度】</b></p> <p>1 災害対応力の向上 積極的に取り組み、個々の知識、技術の向上、隊としての対応能力もある程度向上し、概ね目標は達成出来た。今後も、継続して実施して行く必要がある。</p> <p>2 リーダーの育成 係長クラスの向上は見られたが、次世代のリーダーとなるべく主査等の認識の向上までは至らなかった。</p> <p>3 隊編成の検討 出動隊の調整や訓練で職員の減数に伴う出動体制の見直しは出来たが、突発的な疾病等で職員数が確保出来ない場合があり、総務予防課職員の補正により隊数の編成の維持に努めた。今後の課題として、人員確保の困難な場合は、縮隊（減隊）での対応が必要と思われる。</p> <p>4 地域消防力の向上 地域の実状に見合った消防演習を消防団と合同で計画して各地区で実施し、職員が観察及び指導し訓練後に検証する事で概ね達成することができた。</p>

# 天羽分署 目標

## 【概要】

天羽分署は、消防係・救急係の2係を当直勤務（3交代制）21名で構成し、火災の警戒・鎮圧、人命救助、傷病者の搬送に取り組んでいます。

天羽分署の目標（平成29年度）	天羽分署長 鈴木 正敏
<b>【基本方向】</b> 複雑多様化する各種災害から市民の生命・財産を保護し、市民の期待に応えるため隊員個々の技術向上に努めるとともに、消防団と連携し火災予防、救急啓蒙活動の普及、更には各種災害に対応します。	
<b>【達成すべき目標】</b> 1 分署職員としての意識改革 分署において完結出来る事務文掌を明確化させ、担当係にて着実に遂行する。 分署にて完結出来る事務事業については、分署において自発的に着手する意識を持たせる。  2 地域性にあった災害対応 消防署から遠隔地であり、少ない人員での災害に対応出来るように意識付けさせる。	<b>【目標の達成度】</b> 1 分署職員としての意識改革 届出の受付業務は、若手職員も含めて届出者を待たせる事無く処理出来ていた。 分署対応の事業にあっても担当部において率先して対応出来た。  2 地域性にあった災害対応 業務中や訓練中において常に7人での対応、救急隊出動時の対応について考えられる様になった。